

会の趣旨

これからの算数・数学教育を考える会は、全国の方々と、算数・数学教育のあり方について議論・交流する会です。

日頃の学校現場での算数・数学の授業実践を持ち寄り、指導の改善につなげたり、新しい教育内容・方法の考案・検証を行っていくことを目的としています。

算数・数学教育に関心のある先生、教員を目指す学生・高校生、一般の方々のご参加をお待ちしています。

日時

2025年 2月 2日 (日)

14:00 ~ 15:00 事例発表

15:00 ~ 15:30 教育最新事情

プログラム Zoomによるオンライン開催(参加費無料)

14:00~14:30 事例発表 1

視線と脳活動データに基づいた空間図形のICT学習の有効性の検証
近藤 竜生 (名古屋大学大学院情報学研究科 院生)

14:30~15:00 事例発表 2

量を核にした関数指導
柴原 大樹 (三重県津市立橋北中学校 教諭/三重大学教職大学院)

15:00~15:30 教育最新事情

数量・図形の幼小架け橋期カリキュラムのあり方
黒田 恭史 (京都教育大学教育学部数学科 教授)

対象 小・中・高等学校教員、学生、一般 定員100名

申込先

URL(QRコード)にアクセスして
お申し込みください。申込締切：1月30日

<https://forms.gle/aACAaXUDggehZfmn7>



問い合わせ

黒田恭史 (京都教育大学)
ykuroda@kyokyo-u.ac.jp

※参加申し込みができない場合は、上記の問い合わせ先までご連絡ください。

※1月31日(金)頃に参加方法の案内をメールで連絡します。

第25回

「これからの算数・数学教育を考える会」